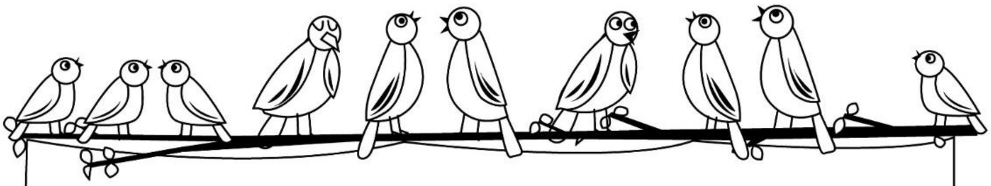
ニュースレター（No.９）　　　　平成２８年１２月号



水島地区介護者の会「とまり木の会」

発行：倉敷市社会福祉協議会
水島事務所
〒 712-8062
倉敷市水島北幸町１－１
TEL 086-446-1900
FAX 086-440-0154

一年が経つのはあっという間ですね。今年も残すりわずかとなってしまいましたが皆さん、如何お過ごしですか。

１２月の例会は、クリスマス会を開催しました。

参加者は２３人(会員１９人　はとぽっぽの会３人　市社協１人)。

今年のクリスマス会は、ジェスチャーゲームから始まり、板野さんによる合唱、談笑会、三宅さんが手配してくださったお弁当と手作りの汁物と漬物で会食をしました。

昨年同様、金山さんがジェスチャーゲームをしてくださいました。お題を手振り、身振りで表現するのですが、時折金山さんが声を出している姿も楽しかったですね。会員の皆さんには、「必ず、手を挙げて当てられたら答える様にしてください」とお願いしていましたが、ついつい声が出ている方もちらほらと、それもまた面白かったですね。

笑う事は何よりも元気の源になりますね。人それぞれに、いろんなことがあると思いますが、笑っていい年をお迎え出来る事を願ってます。

今月から「とまり木の会」に入会してくださった巻尾さんが例会で話してくださった内容を少し紹介します。

介護状況について：昨年の１０月に夫が倒れたことから夫の介護をされています。

当時の様子は、朝「目が見えない」、「口が回らない」症状がで

て、そのまま救急車で病院へ。CT や血液検査など検査だけでも４時間はかかり、不安な時間を過ごされてました。「言葉と足が不自由になる」と医者に言われ、さらに不安が募る日々だったようです。集中治療室に入っている夫の元へ行き、声をかけ、会話ができたことに安堵するも、体は震えていたそうです。その後、順調に回復して、リハビリをするため転院。夫が「寂しい・・・」と話されることもあり、入院中は毎日通っていたそうです。現在は、リハビリの甲斐もあってか身体面の回復は順調で、日常生活を送るうえでは特に問題はないそうです。しかし、認知面の低下があり、なかなか新しいことを習得するのが難しいようです。今も週に４回は通所リハビリに通われています。困る事といえば、夜間に１時間おきにトイレに行くことだそうです。

会員の皆さんの中でも、同じ境遇の方や同じ悩みを抱えている方もいらっしゃるのではないでしょうか。とまり木の会では、一人で抱え込まないで、吐き出せる場にしていきたいと思います。皆さんのご意見・ご感想もお待ちしています。どうぞ、よろしくお願いいたします。

◆◆ ２８年度会費が未納の方は、社協水島事務所までお持ちください。

このところ、会員さんからの声掛けで新たに会に加入される方が増えています。

ありがとうございます♪

皆さんのなかで心当たりのある方は、勧誘等お願いいたします。◆◆

≪１月の例会はありません。≫　ゆっくりご自宅で寛いで下さい。

≪２月の例会≫

開催日時：２月２日（木）午前１０時から正午

会場：倉敷市水島障がい支援センター　はばたき　２階

内容：ヘルマンハープ（ドイツ製のハープ）を楽しもう♪